

事務事業別コスト計算

平成22年度事務事業別コスト計算は、次のとおりです。

事務事業別コスト計算は、当該年度の決算額をもとに、行政サービスの提供活動に伴って発生したコスト（資源の消費）やその財源を下記の区分けに沿って事務事業別に算出したものです。

1 事務事業別コスト計算の内容

(1) 対象会計

「一般会計」、「特別会計」について計算しています。

(2) 対象事業

平成22年度予算に計上している事務事業を対象としています。

(3) 事務事業別コスト計算の構成

事務事業別コスト計算一覧は「事務事業コスト」、「財源項目」、「単位あたりコスト」の3項目で構成しています。

(4) 「事務事業コスト」の区分

経費を性質別に区分しています。

・性質別経費

区 分	経 費 内 容
人にかかるコスト	人件費(職員の従事割合に関する調査(業務量調査)に基づく配賦計算により把握)、 退職手当引当金繰入等
物にかかるコスト	物件費、維持補修費
その他のコスト (上記に属さない もの)	扶助費、補助費等、工事請負費(資産形成分) など
総 経 費	上記の合計額

(5) 財源項目の区分

区 分		財 源 内 容
特 定 財 源	受益者負担額(利用者など行政サービスの受益者が負担する特定財源)	分担金及び負担金、使用料、手数料等
	その他特定財源(受益者負担額以外の特定財源)	国庫支出金、都支出金、財産収入、 諸収入、特別区債等
区 負 担 額 (一 般 財 源)		当該事務事業に投入した一般財源の 額

(6) 指標

指標あたりコストを算出するために用いた各事務事業の活動状況の目安を表示しています。

(7) 指標あたりコスト

各事務事業について指標当たり（例えば、教育費の事業であれば児童、生徒1人当たりなど）のコストを算出したものです。

なお、この数値は、円単位で表示しています。

区 分	経 費 内 容
総経費	事務事業コストの「総経費」に対する指数の1単位あたりのコスト 〔例〕資源回収 $\text{総経費 (440,349 千円)} \div \text{資源回収量} = 78 \text{円}$
区負担	事務事業コストの「区負担額」に対する指数の1単位あたりのコスト 〔例〕資源回収 $\{ \text{総経費 (440,349 千円)} - \text{受益者負担額 (1,876 千円)} - \text{その他特定財源 (32,667 千円)} \} \div \text{資源回収量} = 72 \text{円}$

2 平成22年度事務事業別コスト計算一覧

平成22年度決算数値による計算結果は、次頁以降のとおりです。
なお、コスト計算した事務事業の総数は、1,088事業です。